

No. 156(2017/12)

[会計処理装置事件]

東京地裁平成29年7月27日（平成28年（ワ）第35763号）

弁護士 岩原将文

1. 事案の概要（判決 P2）

発明の名称を「会計処理装置、会計処理方法及び会計処理プログラム」とする発明についての本件特許権（特許第5503795号）を有する原告が、被告による被告製品の生産等、並びに被告方法の使用が本件特許権を侵害していると主張して、被告に対し、特許法100条1項及び2項に基づき、被告による上記各行為の差止め及び被告製品の廃棄を求めた事案である。

本件特許権は、従来から一般的に用いられていた情報処理方法に対する追加的な発明であった。より具体的には、取引内容に含まれるキーワードと勘定科目を対応させた対応テーブルによって各取引を仕訳する情報処理方法において、取引内容に複数のキーワードが含まれている場合の優先ルールに関するものであった。

これに対して、被告製品および被告方法は、いわゆる機械学習により各取引の仕訳方法を獲得・処理するものであり、対応テーブルを人間がプログラムの用に用意しているものではなかった。

そこで、対応テーブルによる情報処理方法に、機械学習による情報処理方法が含まれるのか否かが問題となった。

本件は、従来の情報処理方法による特許権によって、機械学習により情報処理方法を獲得する被侵害物件に対する権利行使は可能か否か、権利行使する際の立証の困難性等についての示唆となっていると考えられる。

(1) 当事者¹

.....

以下割愛。全 26 ページ

以上

¹ 「業界の 2 トップ！どちらの会計ソフトを導入すべき？「freee」と「MFクラウド会計」を徹底比較」
(<http://upgrade.all-in.xyz/comparison/>)